

三浦半島で未記録の アキノヒメミノガを採集

新津修平 *

A new record of *Bacotia sakabei*
in Miura Peninsula

NIITSU Shuhei*

キーワード: 三浦半島, 神社, ミノガ, アキノヒメ
ミノガ

Key words: **Miura Peninsula, Shrine, bagworm
moths, *Bacotia sakabei***

アキノヒメミノガ *Bacotia sakabei* Seino, 1981 は、鱗翅目ミノガ科の一種で、成虫は晩秋に羽化する比較的小さなミノガである。筆者は、神奈川県内のミノガ類調査の一環として、2015 年から三浦半島地域でも調査を行っている。この調査で採集した蓑の飼育を通じて、神奈川県では初となる成虫 (オス) を確認した。また、本種は逗子市・横須賀市以南の三浦半島においては新記録である。下に記録データを示す。

1♂, 横須賀市久里浜, 8.XI.2016 (採集 [蓑]),
15.XI.2016 (羽化), 新津修平採集・飼育。

第 1 図の成虫は、久里浜神社 (横須賀市久里浜 5-19-1) の石灯籠につく粉状地衣類に付着していた蓑から飼育・羽化させた個体である。本種は神奈川県内においても採集例が極めて少なく、1974 年に北鎌倉 (Seino, 1981), 1991 年に大和市 (中島・山本, 2004) での蓑の採集例があるにすぎない。本種は長い間、採集例・採集記録共に少なかったが、神社・仏閣、道路脇のガードレール等の地衣類にも生息することが知られてから、比較的簡単に採集することができる (第 2 図)。

本種は、開張約 12.5 ~ 15.0 mm ほどの光沢のある黒褐色をした無斑紋のミノガで、メスは無翅有脚

型である。蓑の大きさは約 5 ~ 6 mm ほどで、蓑に緑色の粉状地衣類をまとっているのを特徴とする (広渡, 2013)。今回確認した成虫はオスであり、神奈川県ではいまだメス成虫が発見されていない。今後、三浦半島を含む神奈川県の他地域における追加採集が望まれ、その生息状況を注目していく必要がある。

引用文献

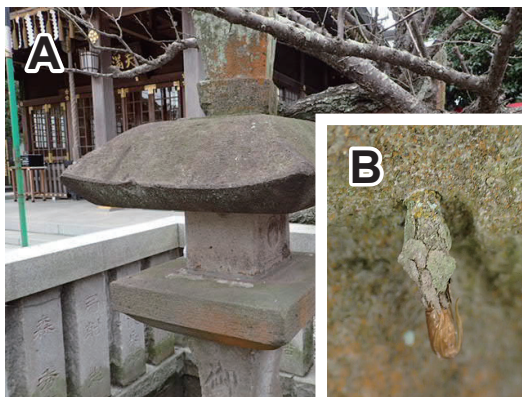
- 中島秀雄・山本光人 2004. チョウ目 (ガ類). 高橋和弘 (編) 神奈川県昆虫誌: 907-1158. 神奈川県昆虫談話会・小田原.
- Seino, S. 1981. A new psychid species of *Bacotia* from Japan (Lepidoptera). *Tyo to Ga*, **31** (3,4): 121-125.
- 広渡俊哉 (編) 2013. 日本産蛾類標準図鑑 III. 145 ページ. 学研教育出版, 東京.

* 〒183-0014 東京都府中市是政 4-2-6-101

横須賀市自然・人文博物館 〒238-0016 神奈川県横須賀市深田台 95
原稿受付 2016 年 11 月 30 日. 横須賀市博物館業績 第 717 号



第1図 飼育羽化させたアキノヒメミノガ♂(2016年10月8日採集〔蓑〕, 横須賀市久里浜).



第2図 A: 採集地点の石灯籠(横須賀市久里浜). B: 石灯籠に付着する羽化後の蓑および蛹殻.